

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 (芳川小) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

「ほうがわクスノキ応援団」の活動内容を、家庭や地域や自治体等へ向けてこれまで以上に発信し、ボランティアへの理解を深めていきたい。

校外の協力者を増やし、教職員の皆様と共に、「子供の安全、安心」のために適切な支援活動のあり方を考えて行く。

子供たちが「夢に向かって ともにかがやく」事ができるように、一生懸命努力できる学校になるよう、これからも支援していきたい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

熟議が出来たと判断する。今年度は基本方針に沿った授業のあり方「子供が幸せ楽しい授業」を具現化するための観点が定期的に発行される「学校だより」でより明確になり、具体的で活発な意見交流ができた。「子供の安心、安全」に関しては、車による学校送迎に伴う安全性の問題提議がされ、積極的な討論が行われた。いじめ基本方針は冊子を使った説明もあり、学校の方針を理解した。子供たちが安心して学校生活を送れるように、どう支援があるべきかをよく議論できた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

熟議が進められたと判断する。支援活動と実行部隊として機能している「ほうがわクスノキ応援団」のボランティア活動についての熟議ができた。活動が更に活発になり、ボランティアへ親子参加されるなど積極的な姿も見られ、支援活動の様相はより豊かになり、広がりを見せている。雨天時の送迎について、さくらメールを利用したアンケートを行った。保護者全体の注意喚起にもなり、車による送迎が減少している。子供の安心安全をサポートするための支援の仕方も熟考討議されている。基本方針に沿った教育活動充実に繋げるために、支援の在り方は今後も更に掘り下げて検討していく。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

おおよそ情報発信を行えたと判断する。CSだより学校ホームページ、さくらメール等を活用し発信を行った。校長発信の学校だよりもあり、機を捉えた情報発信ができた。インターネットを利用しての発信に偏り、ネット利用が少ない世代や、地域の方への周知や報告という点では、不足しているように感じる。今年度、いじめ防止運動である「ピンクグッズ着用」の呼び掛けを有志単位で行った。そこから発展し、2月の本シーズンに学校全体でのピンクシャツ運動を実行する方向で検討中である。小さな発信がきっかけになった好例である。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

協議結果を地域住民まで報告し、ボランティア活動を自治体まで広げ、ご理解ご協力いただける働きかけができるような成果に繋がる情報発信を模索していく。

子供の安心、安全のため、学校、地域、保護者の連携をよりスムーズにする。送迎登下校時に伴う危険度の認知と危険度緩和のため、地域住民の協力も求めながら、どのような支援協力のあり方が良いのか協議を続けたい。